

（仮称）多世代が集う憩い広場の基本方針

（１）旧北小学校跡地利用プロジェクトの要旨

大口町では、旧北小跡地の将来的な利用方針について検討を重ねるべく、平成23年8月より、「旧北小学校跡地利用検討プロジェクト」を立ち上げ、以下のような方向性を示しています。

【基本コンセプト】

『多世代が集う憩い広場』

【キーワード】

憩い、遊楽、集い、多世代、健康、運動、ふれあい

【平成22年度都市マスタープラン策定に係るアンケート結果】

公園に関わる町民ニーズとしては、以下の項目に対するニーズが高いことが確認されました。

- ・地震時などに役立つ公園
- ・家族や仲間と健康づくりやレクリエーション、散歩等が楽しめる公園

【基本コンセプト決定の考え方】

基本コンセプトについては、以下のような考え方に基づいて設定されました。

- ・利用が少なく、特定の利用者しかいないので、多くの住民（老若男女）が憩い、集える場所が必要
- ・非常時における災害用空地としても活用できるように広がりのある空間をできる限り残していくことが必要

旧北小学校跡地利用検討プロジェクトが示す方向性

（２）基本計画の成果

先述した「旧北小学校跡地利用検討プロジェクト」の検討を踏まえ、旧北小跡地の公園整備に関して、地域の方と一緒に考え、地域に親しまれる公園となる事を目指し、平成26年度に公園づくりワークショップを3回開催し、基本計画としてとりまとめています。

■基本方針

【基本コンセプト】

『多世代が集う憩い広場』～つながりを大切に～

【主なキーワード】

五条川（尾北自然歩道・桜並木）

小口城址公園

旧大口北小学校（体育館・正門門柱・既存樹木）

基本計画では、旧北小跡地利用検討プロジェクト報告書の基本コンセプトを基にしつつ、ワークショップによる意見でもある周辺資源とのつながりを大切にする旨をサブテーマに含め、新たに基本コンセプトを定めました。

旧北小跡地においては、現在、利用が少ないことや特定の利用者しかいないことを問題視し、平常時においてより多くの老若男女が親しまる空間を目指すとともに、周辺に存在する資源とのつながりにおいても、動線・視線の確保、効果的な魅力の発信を可能とする空間を創出し、周辺資源と一体的な公園としての整備を進めていく事を目指す基本方針としました。

■公園づくりワークショップによるポイント

①五条川とのつながり

②小口城址公園とのつながり

③大口北小学校とのつながり

④いつでも誰でも自由につかえる広場

⑤多世代が利用できる公園施設

(仮称) 多世代が集う憩い広場整備計画 (案)

面積：約 1.0 ha
S=1:1,000 (A3)

健康遊具イメージ



幼児用遊具イメージ



N

0 5 10 20 30 40 50m

徒渉池(としょういけ)イメージ



休憩所イメージ



既存樹



センダン



センダン



コナラ

小口城址公園

体育館

既設正門門柱



既設防災倉庫移設



A断面 S=1:300 (A3)

